※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)硬筆･ペン習字	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	「硬筆　レッスン帳」(教育図書)「美しく正しい字が書ける　筆ペン字練習帳」(新星出版社)およびプリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常生活のあらゆる場面で行かせることを理解し、読みやすく美しい文字を書くためにここで目標を立て、活用できるように学びましょう。

2　学習の到達目標

書が生活のあらゆる場面で活かせることを理解し、用途や目的に合った表現方法を選択し、活用できるように様々な表現方法を習得する。文字により文化が伝達・継承されてきたことを理解し、読みやすく美しい文字を書くことの必要性を学び、その技能を習得する。
(a)書における基本的な様式・表現効果を理解し、知識を身に付ける。
(b)目的や用途に即した書式や表現を選択し、表現する技能を身に付ける。
(c)書が身近であることを実感し、生涯にわたり書を愛好する心情を育み、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文字や書の伝統や文化について幅広く理解する。 創造的かつ効果的な書表現をするために、使用する筆記用具の特性を理解し、表現方法を選択し活用できるよう、様々な表現技能を習得する。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、書の実用的活動の喜びを味わい、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	書が身近であることを実感し、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に書の表現及び鑑賞の活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	印象のいい文字の書き方 漢字の(楷書)学習	丁寧で読みやすい文字を書く心情を育てる。 紙面・マスに対しての文字の大きさの学習 ボールペンの用筆法 部首名の学習 部首ごとの結構法を学習する。 紙面・マスに対しての文字の大きさの学習 横書きの文章のまとめ方の学習 自分の名前や住所などを中心に履歴書の作成を行う。	c:丁寧で読みやすい文字を書こうと意欲的・向上心を持って取り組んでいる a:筆記具に応じた持ち方や用筆法を身に着け表している。 a：文字を美しく書くための方法を理解し、文字の大きさ・配置などを工夫している。 b:他社の作品と自分の作品とを比較し、共通の長所・短所を模索することで、配置や結構法などバランスとは何かを考えその良さを味わっている。	作品	プリント	振り返り プリント 観察
2学期	縦書きの文章の練習	はがき・封筒の表書きの書式 縦書き文章のまとめ方の学習 手紙を題材に縦書き文章のまとめ方 時候の挨拶など日本文化としての手紙の書式を学ぶ	c:丁寧で読みやすい文字を書こうと意欲的・向上心を持って取り組んでいる a:文字を美しく書くための方法を理解し、文字の大きさ・配置などを工夫している。	作品	プリント	振り返り プリント 観察
	行書による学習① 行書の学習②	自分の名前の楷書・行書の違いを意識して書く。 前単元を行書を扱い学習する。 前項の内容を踏まえ筆ペンを使用し年賀状や祝儀袋などの書き方を学習する。	c:新しい書体について関心をもち、意欲的に取り組んでいる。 b:楷書・行書の違いを観察し、表現に結び付けその良さを味わっている。 a:行書の特徴を踏まえた文字を美しく書くための方法を理解し、文字の大きさ・配置などを工夫している a:筆ペンを効果的に使用する技能を身に着け表している。	作品	プリント	振り返り プリント 観察

※令和４年度以降入学生用

3学期	感謝状の制作	卒業にあたり、筆ペンを使用し、感謝状を作成する。 感謝状耕の書式・規範に従い制作することで、文字の大きさ・配置などを工夫し、文章全体のバランス感覚を養う。	a:感謝状の制作時の規範に従い制作している。 b:筆記具の違いを理解し、太さの違いと文字の大きさの変化をつけ、見やすく訴求力の高い作品を工夫して制作している。 b:他社の作品と自分の作品とを比較し、共通の長所・短所を模索することで、配置や結構法などバランスとは何かを考えその良さを味わっている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度